

中学校選択制度に関するアンケートの実施について（案）

1 調査目的

平成 17 年度の新入生から実施している区立中学校選択制度について、生徒・保護者や教員・学校関係者の意識・意向、実情等を把握し、中学校選択制度検証委員会における制度検証の参考にするため。

2 調査対象・調査方法

【調査対象】

5,483 人	内訳)	区立中学校全 1 年生の保護者・生徒	4,363 人
		(5/1 現在)	
		区立中学校の校長、副校長、教員	約 820 人
		区立中学校の学校評議員	約 300 人

【調査期間】

令和元年 10 月下旬～11 月中旬

【調査方法】

- 択一式、自由意見欄含む
- 無記名

【配付・回収】

- 「保護者・生徒」「校長・副校長等」は学校を通じて行う。
- 「学校評議員」は郵送による。

【集計方法】

集計は全校総数のほか、学校や選択希望数などによるクロス集計も行う。

3 アンケート内容

【考え方】 第1次・2次検証委員会のアンケート結果と比較するため、
同じ質問項目を含める。
選択希望票のアンケートの質問項目は除く。

	質問項目(案)
保護者・生徒	<ul style="list-style-type: none">○検討した学校数○通学している学校の教育活動の魅力○現在の中学校で充実した学校生活を送っていますか○通学の手段、所要時間、不安要素○学校行事への参加○受入可能人数○指定校変更制度を知っていますか(新)○学校公開および学校説明会は参考になりましたか(新)○学校選択制度について(自由意見欄含む)
学校	<ul style="list-style-type: none">○在籍校の1年学級数と役職○選ばれている理由○選択制度は魅力ある学校作りに繋がっているか○選択制度と地域の繋がり○選択制度と生徒指導○教育活動への影響○受入可能人数○学校選択制度について(自由意見欄含む)
学校評議員	<ul style="list-style-type: none">○地域の中学校との繋がり(自由意見欄含む)○地域と学校の連携と影響○選択制度と災害時の中学生の役割○選択制度の継続について○学校選択制度について(自由意見欄)